

## ●自然体験⑩

## スノーシューハイキング



## 概要

スノーシューをはいて、雪に覆われた森や野原を歩き、木々の冬芽、動物の足跡、鳥の姿や鳴き声など、多くの命を身近で感じることができます

## 人数

・240名程度

## 対象

・小学生～

## 実施期間

・冬（12/23～3/31）

※積雪の状況によりますのでお問い合わせください



## 活動場所

・詳細は別紙2 エリアマップ参照

## 指導のねらい

・積雪時しか発見できない、冬ならではの魅力を体感する

※なぜスノーシューを実施するのか、団体ごとにねらいを設定してみましょう

## 活動のながれおよび留意点

## 【事前準備】

- ① スノーシューハイキング中に行うプログラムを考える  
※ 山の家ホームページのプログラムを参照
- ② スノーシューの使い方を調べる  
※ 別紙1参照

## 【当日】

- ① 服装と装備を確認する
- ② 物品の貸出（山の家職員立ち合い）
- ③ スノーシューハイキング実施
- ④ 物品の返却（山の家職員立ち合い）
- ⑤ 振り返り

## 準備物品

## 【山の家で貸出可能なもの】

・スノーシュー、無線機

## 【団体で準備するもの】

・服装（防寒インナー上下、長めの靴下、フリース等）、スキーウェア上下、耳まで隠れる帽子、ネックウォーマー、冬用手袋、汗拭きタオル、換えの手袋、水筒、救急用品

## 備考

## スノーシュー (道具の準備・装着・留意点)

### 道具の準備

#### ① 乾燥室からスノーシューをとってくる



#### ② 活動場所へ移動する

床が傷つくため、館内での装着はしない



### 装着

#### ① スノーシューの左右を確認する

・かかとのバンドの金具が外側にくるようにする



#### ② つま先、かかとのバンドを緩め、つま先を入れる



#### ③ つま先のバンドの両端を引いて締める



#### ④ かかとのバンドの金具を引いて締める



#### ⑤ バンドを踏まないように、結んだり、挟めたりする



### 留意点

・使用後の道具は、雪を落とし、裏面を合わせて、指定の場所に戻してください



・破損があった場合は、事務室または近くにいる職員までお声がけください

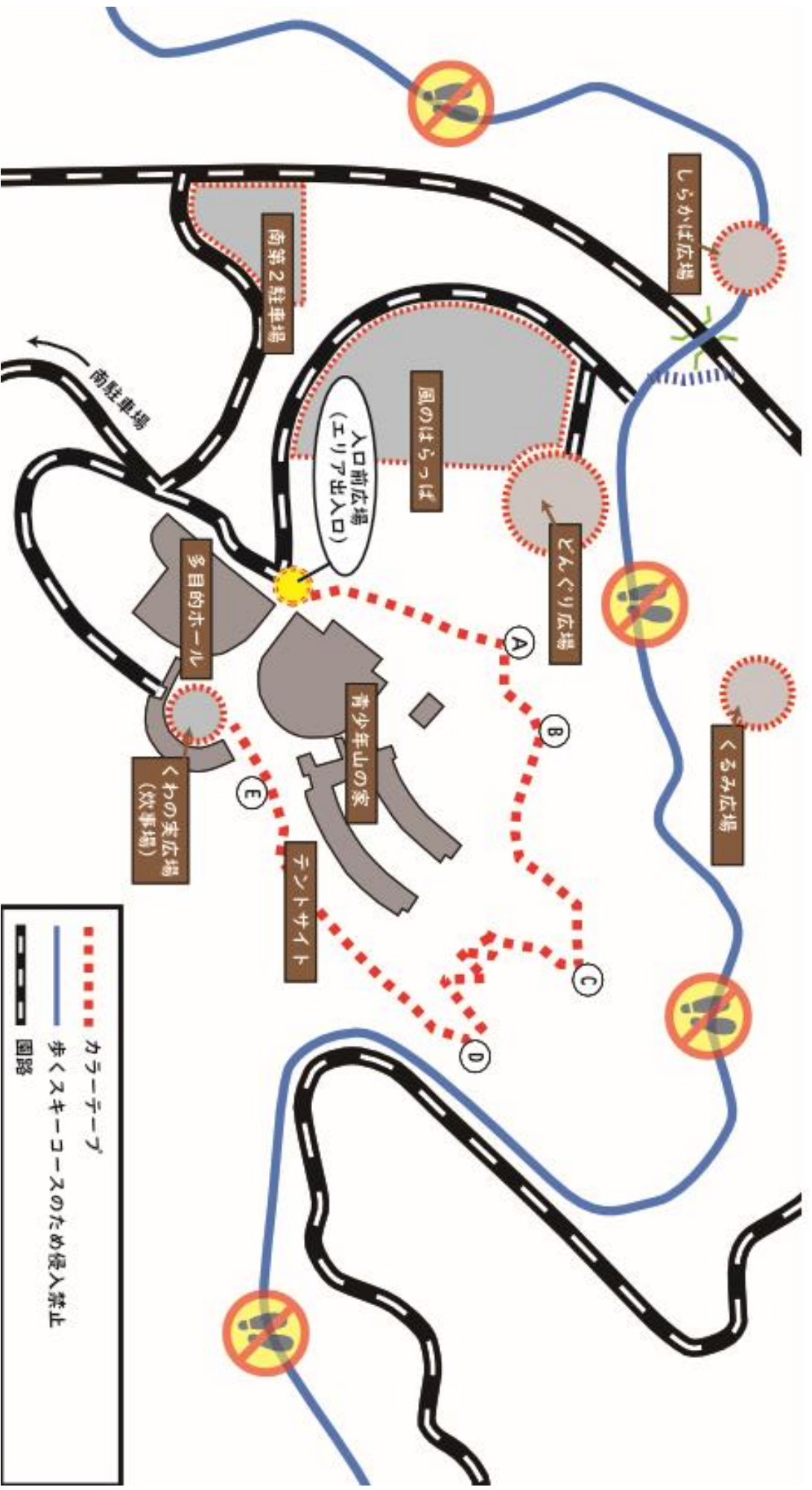


# スノーシュー（山の家周辺エリア）

カラーテータエリア内または周辺で自由に活動ください。



案内看板



●●●●● カラーテータ  
——— 歩くスキーコースのため侵入禁止  
 道路